

令和5年度光化学スモッグ広報等の発令状況等について

兵庫県では、光化学スモッグによる健康被害を未然に防止するため、光化学スモッグ広報等の発令を行っています。

このたび、令和5年4月20日から10月19日までの光化学スモッグ特別監視期間が終了し、発令状況等の概要をとりまとめましたのでお知らせします。

記

1 光化学スモッグ広報等の発令状況

令和5年度の光化学スモッグ広報等の発令日数は1日（予報0日、注意報1日）で、5月17日に発令しました（表1）。予報及び注意報の発令日数は、過去10年の平均（予報1.0日、注意報1.5日）と比べて大きな差はありませんでした。

表1 令和5年度光化学スモッグ広報等発令状況 ○予報 ●注意報

発令月日（曜）	尼崎市	西宮市	芦屋市	伊丹市	宝塚市	川西市	三田市	神戸市※				明石市	稲美町	播磨町	加古川市	西脇市	高砂市	姫路市	太子町	たつの市	相生市	赤穂市	丹波市	洲本市	豊岡市	合計
								東部	西部	垂水	北部															
5月17日(水)									●			●		●		●										4

※神戸市東部（東灘区、灘区、中央区）、西部（兵庫区、長田区、須磨区）、垂水（垂水区、西区）、北部（北区）

2 光化学スモッグによる被害報告

光化学スモッグによる被害の届出は、ありませんでした。

3 令和5年度の特徴

(1) 注意報が発令された5月は、月の前半は高気圧に覆われ晴れる日が多ありましたが、後半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降る日が多くなりました。

発令日の17日は、移動性高気圧に覆われ晴れ間が広がりました。神戸、姫路、洲本（以下「3地点」とする）での日照時間が12.5～12.7時間と長く、最高気温は27～30℃と平年より3～6℃高くなり、日最高オキシダント濃度が神戸市垂水で136ppb、加古川市で143ppb、高砂市で135ppb、稲美町で132ppbとなりました。16日も加古川市で100ppbとなりました。

(2) 4月及び6月から10月にかけて広報等の発令はありませんでした。

4月下旬は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。日最高オキシダント濃度が100ppbを超えることはありませんでした。

6月は、上旬と下旬は梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、中旬は高気圧に覆われ晴れる日もありました。17日は移動性高気圧に覆われ晴れ間が広がり、兵庫県の多くの地点で日照時間が13.0～13.7時間と長く、最高気温も29～31℃と高くなったため、日最高オキシダント濃度が

加古川市で 119ppb となりました。

7月は、上旬から中旬にかけて梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降る日が多くなりましたが、太平洋高気圧に覆われ晴れる日もありました。下旬は太平洋高気圧に覆われ晴れる日が多くなりました。27日は3地点での最高気温が36～37℃の猛暑日となり、日最高オキシダント濃度が尼崎市で115ppbとなりました。28日も最高気温が35～36℃の猛暑日となり、日最高オキシダント濃度が伊丹市で111ppbとなりました。その他にも100ppb以上となった日が3日ありました。

8月は、太平洋高気圧に覆われ晴れる日もありましたが、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。15日は台風7号が兵庫県に上陸、縦断したため大荒れの天気となりました。21日は太平洋高気圧に覆われ晴れ間が広がり、3地点の最高気温が34～36℃となり、日最高オキシダント濃度が西宮市で105ppbとなりました。

9月は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降る日が多くありましたが、太平洋高気圧に覆われ晴れる日もありました。

10月の上旬及び中旬は、高気圧に覆われ晴れる日が多くありましたが、秋雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の降る日もありました。

【参考資料】

1 光化学スモッグ広報等の発令状況及び被害届出者数の推移

発令状況及び被害届出者数の推移は、表1及び図1のとおりです。

表1 光化学スモッグ広報等の発令状況及び被害届出者数の推移

年度	予 報		注 意 報		発 令 日 数	被害の届出者数 (人)
	日数	延地域数	日数	延地域数		
平成26年度	0	0	2	2	2	0
平成27年度	2	8	2	5	2	0
平成28年度	1	1	1	2	1	0
平成29年度	2	4	1	1	2	0
平成30年度	0	0	2	3	2	0
令和元年度	4	25	3	15	4	0
令和2年度	1	1	2	3	3	0
令和3年度	0	0	0	0	0	0
令和4年度	0	0	1	4	1	0
令和5年度	0	0	1	4	1	0
過去10年の平均	1.0	3.9	1.5	3.9	1.8	—

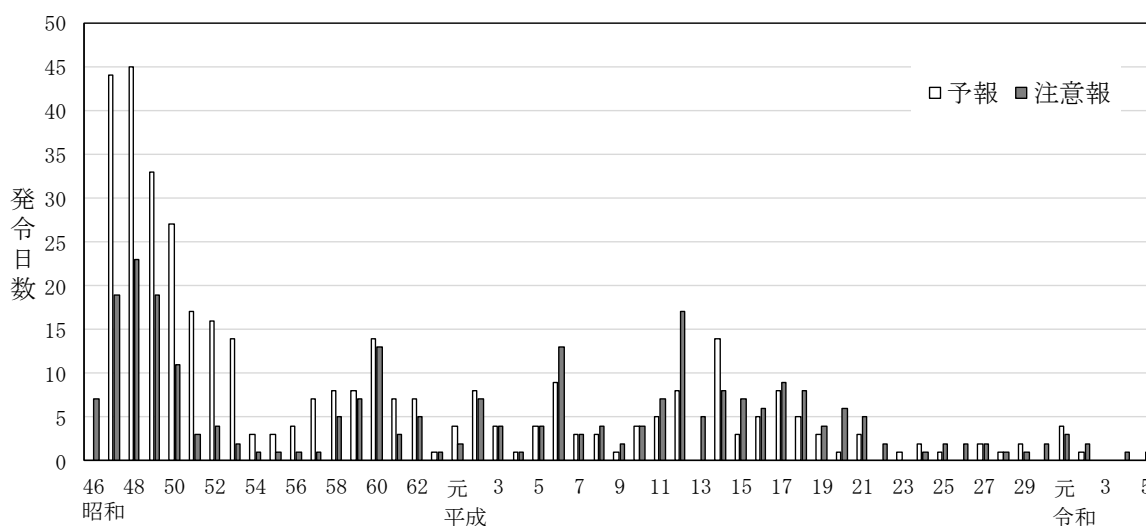


図1 光化学スモッグ広報等の発令日数の推移

2 光化学スモッグ特別監視期間中の気象状況等

(1) 梅雨入り及び梅雨明け並びに降水量

今年の梅雨入りは5月29日頃(平年は6月6日頃)、梅雨明けは7月16日頃(平年は7月19日頃)で、梅雨入りは平年より8日早く、梅雨明けは平年より3日早くなりました。

6月初めにかけて台風2号に伴う暖かく湿った空気の影響で梅雨前線が北上して本州付近に停滞し、活動が活発となりました。6月末から7月中旬にかけて太平洋高気圧が日本の南で強く西に張り出し、高気圧縁辺に沿って多量の水蒸気が日本付近に流れ込みやすい状況が続き、日本付近の梅雨前線の活動が活発となりました。

近畿地方における梅雨の時期の降水量平年比は97%となりました。

(2) 最高気温 (神戸)

神戸市の日最高気温の月平均値は、5月:23.7℃(平年比+0.1℃)、6月:26.6℃(平年比-0.1℃)、7月:31.4℃(平年比+1.0℃)、8月:33.9℃(平年比+1.7℃)、9月:31.5℃(平年比+2.7℃)となりました。

図2の旬別で見ると、6月上旬は、梅雨前線や湿った空気の影響で平年より低くなりました。7月下旬から8月上旬及び8月下旬から9月下旬は、太平洋高気圧の強まりに伴う暖かく湿った空気の流れ込みにより顕著な高温となりました。

(3) 日照時間 (神戸)

神戸市の月ごとの日照時間は、5月:225.1時間(平年比+22.5時間)、6月:131.3時間(平年比-32.7時間)、7月:233.1時間(平年比+43.7時間)、8月:241.0時間(平年比+11.4時間)、9月:191.5時間(平年比+27.6時間)でした。

図2の旬別で見ると、5月上旬から中旬にかけて、高気圧に覆われ平年より多くなりました。

6月上旬や下旬は、梅雨前線や湿った空気の影響で平年より少なくなりました。

7月中旬から8月上旬にかけて、太平洋高気圧に覆われ平年よりもかなり多くなりました。

8月中旬は、台風7号や湿った空気の影響で平年より少なくなりました。

8月下旬から9月下旬にかけて、太平洋高気圧に覆われ平年より多くなりました。

10月中旬は、高気圧に覆われ平年より多くなりました。

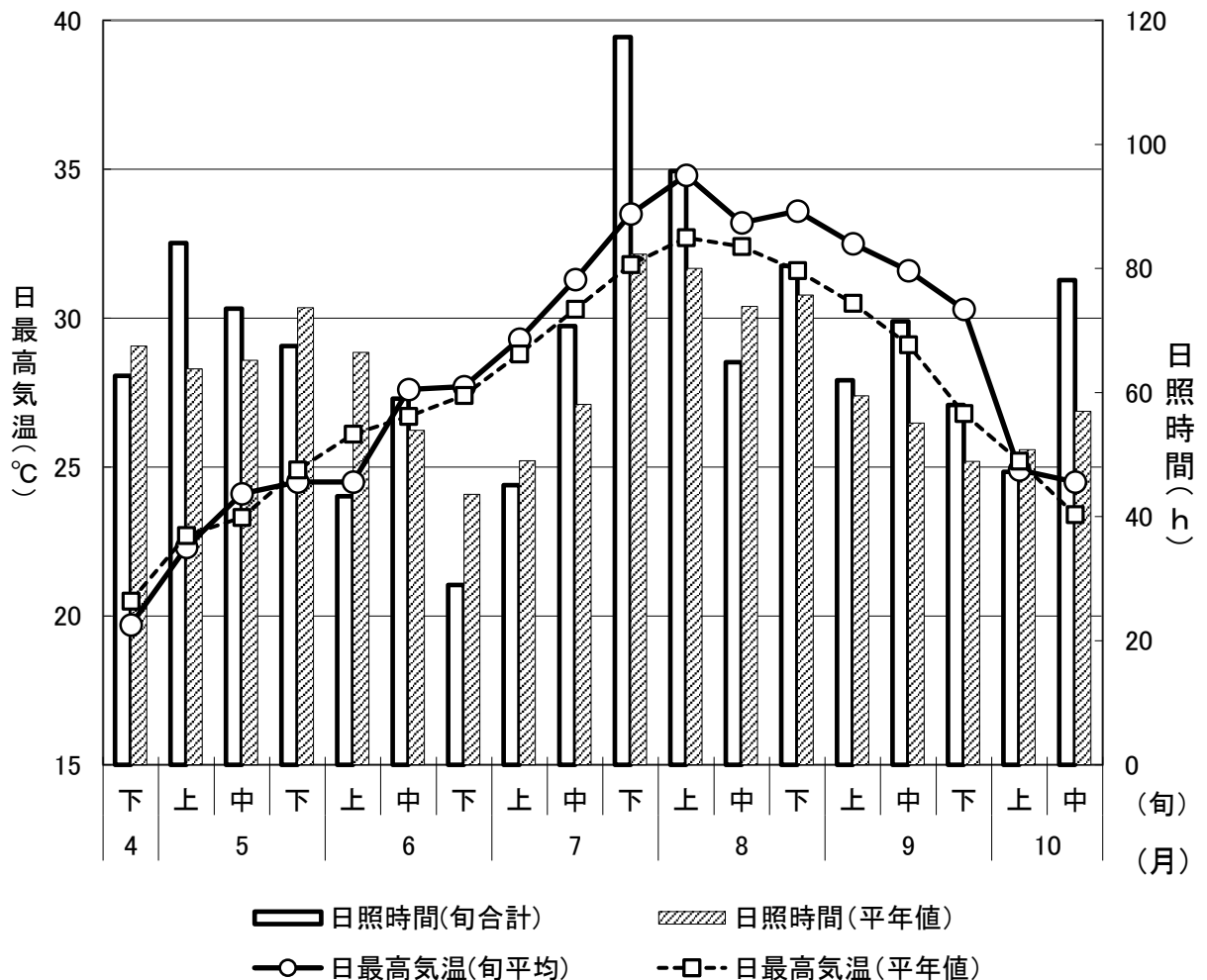


図2 令和5年度 特別監視期間中の日最高気温(旬平均)と日照時間(旬合計)【神戸】

3 光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容について

光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容は、「光化学スモッグ緊急時対策実施要領」で定めています（表2）。

表2 光化学スモッグ広報等の発令基準及び措置の内容

区 分	発 令 基 準	措 置 の 内 容
予 報	オキシダント濃度が、気象条件等から注意報の発令基準に達するおそれがあると判断したとき	<ul style="list-style-type: none">工場・事業場への窒素酸化物排出量の20%削減要請有機溶剤等炭化水素の使用抑制の要請不要不急の自動車運転の自粛要請
注 意 報	オキシダント濃度の1時間値が0.12ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底及び確認
警 報	オキシダント濃度の1時間値が0.24ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	上記措置の徹底及び確認
重大警報	オキシダント濃度の1時間値が0.40ppm以上になり、気象条件からみて、その濃度が継続すると認められるとき	<ul style="list-style-type: none">工場・事業場への窒素酸化物排出量の40%削減要請有機溶剤等炭化水素の使用抑制の要請自動車運転者への公安委員会の指示